

第44巻 第2号 予告

特集「公衆衛生情報ネットワーク・システムの構築をめざして」

1. 研究支援基盤としての情報ネットワーク・システムの現状と課題（仮題）…神沼二眞
2. 國際保健活動における情報交流の現状と課題（仮題）……………林 謙治
3. WISH の現状と将来（仮題）……………小川 敦
4. 地域保健における情報ネットワーク・システムの可能性
 - 1) 千葉県感染症サーベイランス・システムの現状と問題点（仮題）……市村 博
 - 2) 福岡県の地域がん登録事業における保健環境研究所の役割（仮題）……篠原志郎
 - 3) 脳卒中退院患者の在宅ケア支援情報システム（仮題）……………後藤 敦
5. 公衆衛生情報ネットワーク・システムの現状と可能性（仮題）……………林 正幸
6. 情報提供（情報流通）における図書館（情報センター）の役割（仮題）…磯野 威

「公衆衛生研究」特集既刊一覧

40/1 (1991. 3)	保健所はいま	3 (1993. 9)	ストレスと健康
2 (1991. 6)	廃棄物処理	4 (1993.12)	水道水
3 (1991. 9)	住まいと健康	43/1 (1994. 3)	21世紀のファミリー・ヘルスの模索
4 (1991.12)	国際保健協力の充実化に向けて		—国際家族年から考える—
41/1 (1992. 3)	大都会の高齢者	2 (1994. 6)	地域保健と保健婦活動
2 (1992. 6)	受動喫煙	3 (1994. 9)	地域保健医療の政策的動向
3 (1992. 9)	環境問題を点検する	4 (1994.12)	医薬品の品質、有効性、安全性の確保
4 (1992.12)	地方衛生研究所はいま		東アジア、西太平洋地域の環境問題
42/1 (1993. 3)	エイズ対策	44/1 (1995. 3)	
2 (1993. 6)	食品の安全性		

編 集 後 記

1970年（昭和45年）前後の時期は、わが国において環境問題が急速に顕在化し、国民の関心が一気に高まった時期であった。1967年には当院に公害衛生学部（後に地域環境衛生学部と改称）が設置され、1971年にはわが国に環境庁が発足した。その後、法令の整備や行政上の指導等がなされ、個別の環境汚染については改善をみたものもあった。しかし、現在の環境問題は、各国の国内問題としてのみならず国際的あるいは地球規模で考える必要性があることをわれわれに教えている。日頃、私たちは地理的にアジアや太平洋地域の一部において生活し、生産活動や消費活動をとっていることを意識することはあまりないのではないだろうか。今回は、東アジア西太平洋地域の環境問題をとりあげた。グローバルに環境を考えるきっかけとなれば幸いである。おわりに、この度の阪神大震災に被災された方々に心よりお見舞い申し上げると共に、亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げる次第である。

衛藤 隆（母子保健学部）